

研究課題名

左室収縮能が保たれた心不全患者に対する Adaptive servo-ventilation 治療有効性の後ろ向き検討

1. 研究の対象

2012年1月1日～2017年12月31日の間に、以下の研究参加施設にて、左室収縮能の保たれた心不全と診断され、かつ Adaptive servo-ventilation を在宅で使用された方

2. 研究目的・方法

【研究の目的】

我が国では以前より慢性心不全患者さんを対象に、Adaptive servo-ventilation (ASV) を主体とする陽圧呼吸療法が実施されてきましたが、ASV の有効性などに関する研究は少なく、よくわかっていないのが現状です。本研究では、心臓の機能が保たれた心不全患者さんに対する ASV の有効性と、その規定因子を明らかにすることを目的としています。

【研究の方法】

本研究では、通常の診療で行われた検査結果や治療内容、治療効果などの情報を収集します。研究参加施設にて、カルテより研究に必要なデータを収集し、大阪大学循環器内科にてデータベースに蓄積の上、解析を行います。

【研究期間】 2019年5月22日～2021年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：患者様のカルテより、年齢、身体情報（身長、体重）、血圧、心拍数、既往歴、病歴、投薬内容、血液生化学検査データ、心臓超音波検査データ、心電図、ASV 関連データ（機種、使用时间、機器設定など）等

試料：この研究では取り扱いません。

4. 外部への試料・情報の提供

当院で収集した情報は、WEB を介して REDCap システムに登録して入力し、研究責任施設である大阪大学大学院医学系研究科循環器内科学へ提供します。

データの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。個人と研究のための識別番号との対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

研究代表者：坂田泰史 大阪大学大学院医学系研究科循環器内科学 教授

研究協力者：南 茂 大阪大学医学部附属病院 臨床工学部 技士長

阿部 顕正 桜橋渡辺病院 ME 科

山本 敬二 大阪労災病院 臨床工学科

木田 博太 大阪急性期・総合医療センター 臨床工学室 主査

(作成日：2019年4月15日)

加藤 大三 大阪警察病院 臨床工学科
岩本 匡史 りんくう総合医療センター 臨床工学科 学術主査
松本 景史 JCHO 大阪病院 臨床工学科
土井 崇 国家公務員共済組合大手前病院 臨床工学室 科長
宇座 英慈 大阪国際がんセンター 麻酔科 GE 室

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

【連絡先】

研究責任者： 土井 崇 （ 臨床工学室 ・ 科長 ）
施設名： 国家公務員共済組合連合会大手前病院
住所： 〒540-0008 大阪市中央区大手前 1-5-34
電話番号： 06-6941-0484（代表）